

## 令和2年度 音楽科 授業改善推進プラン

### ①現状・観点別分析

#### □生徒による授業評価の分析

授業の目標や流れを理解している生徒の割合は 95.1%で、比較的多くの生徒が目標や流れを理解し、授業に取り組んでいる。一方、関心・意欲が高まっていると感じている生徒の割合は 79.4%、知識・技能が高まっていると感じている生徒は 82.4%、考えが深められていると感じている生徒は 78.9%、振り返りをできている生徒は 78.5%だった。特に、関心・意欲が高まっていると感じている生徒が少ないことが課題である。今年度は感染症対策のため、グループ活動や歌うことなどが制限されていることと、制限がある中でも、生徒が意欲的に取り組める活動内容を十分に設定できなかったことが原因であると分析する。

#### □観点別評価の分析

1学期の評価で達成率 50%以上の生徒の割合が、音楽表現の創意工夫は約 85%であるのに対し、鑑賞の能力は 75%と低い。鑑賞の能力については、定期考査で各学年 1 題ずつ記述問題を出題したが、正答率が約 49~72%と低かった。特に1学年は 49%で、感じ取ったことを文章で表現することが苦手な生徒が多いと分析する。

### ②課題

#### □生徒による授業評価の分析より

- ①生徒の興味・関心や意欲を引き出す指導に課題がある。
- ②感染症の対策もあり、対話を通して考えを深める活動を十分に行うことができなかったことに課題がある。

#### □観点別評価の分析より

楽譜から読み取った情報や、映像および音源で鑑賞した内容から感じ取ったことを、自分の言葉で表現することに課題が見られる。

### ③具体的な改善策（「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善）

#### □生徒の興味・関心や意欲を引き出す工夫

- ①意図的に間を取って話したり、物を見せながら説明したりする。また、伝える順番を工夫する等、生徒の学びたい気持ちを引き出せるような工夫をする。
- ②生徒同士で役割分担をさせ、事前に調べたことを発表させたり、一つの作品を様々な視点で捉えさせたりすることで、個人の活動においても考えを深められるように工夫をする。

#### □「鑑賞の能力」の向上

感じ取ったことを書かせるだけでなく、発表したり、プレゼンテーションをし合ったりする等、自分の言葉で表現する力を育むための活動を充実させる。